

3月園だより

令和6年2月29日



元宿こども園の教育・保育目標

園長 岩島 裕子

園庭の梅の花や菜の花が満開になり、4歳児が植えたチューリップの芽が顔を出している様子に、春の訪れを感じられるようになりました。

元宿こども園の園庭には何匹かのアズマヒキガエルが住んでいて、暖くなると花壇の土の中や、倉庫の下からのそのそと出できます。今年は暖かい日が続いたので、気の早いカエルが池の中や水たまりに卵を産み始めました。年長の子どもたちはすぐに気が付き、水たまりの卵をタライの中に助け出していました。池の中の生まれた卵は、そのままそつとすることに決めたようです。元宿こども園は、千住という地域の中でも自然に恵まれ、季節ごとに様々な経験をすることができます。自然に触れることで、豊かな感性が育ち、命を大切にしようとする心が育まれています。この環境の中で子どもたちは、友達と一緒にたくさんの経験ができたと感じています。

日々の生活の中の一つ一つの場面に、たくさんの経験からの学びがあります。子どもたちの遊びは学びです。子どもたちは遊びながらたくさんのことを考え、発見しています。保育者の役割は遊びの中で学んでいる姿をしっかりと読み取り、明日の保育につなげることです。人を思いやり、やりたいことを実現するために試したり、工夫したりする子どもたちです。子どもたちが遊ぶ姿は、しっかりと元宿こども園の教育・保育目標につながっていると感じています。

進級・就学のこの季節は子どもたちが「大きくなった」喜びと期待を感じる時です。子どもたちが笑顔いっぱい過ごすことができるように、子どもたちの成長を第一に考え日々大切に過ごしていきたいと思ひます。

最後になりましたが、いつも温かく見守りご協力をいただいた地域の皆様、保護者の皆様に深く感謝申し上げます。



元宿こども園教育・保育目標

主体的に夢中になって遊ぶ

たくましいこども

やさしいこども

かんがえるこども

小さな成長

第二園舎副園長 石川 千恵子

先日、1、2歳児のおやつの様子を見に行った時のことです。私に気付いた2歳児が、「見て見て」と呼ぶのです。いつもニコッと微笑んだり、「美味しいよ」と教えてくれたりする子どもたちですが、その日はいつもと違いました。側に行くと、「なあに？」と聞いてみると、自分の胸元を指差して、ほら見てとばかりに誇らしげな表情をしています。一瞬考えましたが、すぐにその理由が分かりました。「エプロン、つけていないのね」と言うと、自分のすごさに気付いてもらったことに満面の笑みがこぼれていました。たかがエプロン1枚のことかもしれませんが、子どもにとっては自分の成長を感じる嬉しい出来事でした。小さな成長と一緒に喜べる幸せを感じた瞬間でした。ただ、個人差がありますから、まだエプロンを使っている子どももいます。メニューによってはエプロンが必要なこともあると思います。一人一人の発達や状況を担任がよく見て、保護者の方と連携を取りながら対応していきますので、ご安心ください。

子どもたちは日々の生活の中で、少しずつ成長しています。何かができるようになるだけでなく、苦手なことをちょっぴり頑張れたり、友達におもちゃを譲ったりというような心の成長を感じることも多々あり、嬉しく思っています。

年度末になりましたが、子どもたちが健やかに成長していけるよう、切れ目なく見守ったり援助したりしていきます。





1・2歳
りす組・うさぎ組



りす組の子どもたちは遊びの中で園庭をたくさん歩き、足取りがとても安定してきました。園庭にある木製の斜面を登ったり降りたり、ときには段差から降りようとする姿も見られるようになりました。滑り台の階段を手すりにつかまりながら一段一段登る姿は頼もしくなり、成長を感じます。また、手伝ってほしくて手を伸ばしてくることもあります。その時はすぐに保育者が手を差し出し、子どもの気持ちを受け止めるようにしています。

うさぎ組の子どもたちは友達と一緒にいることを楽しんでます。ある日、プールのところにあるベンチに数人で登り、プールの中をのぞきながら何やら話をしていました。そっと近づき聞いてみると、プールの上に浮かんだ透明なビニール袋を見て「氷だ!」「空から落ちた袋だ!」と盛り上がっていました。子どもたちの話に耳を傾けると、楽しいことがいっぱいあります。体の動きが活発になり、好奇心も強くなってきたこの時期、一人一人が十分満足して遊ぶことができるように、環境を整えて保育者も一緒に遊びを楽しんでいきたいと思ひます。

- 保育者や友達と関わりながら好きな遊びを楽しみます。
- 簡単な身のまわりのことを自分でしようとする気持ちを育てていきます。



3歳児
ぱんだ組

第一園舎で一日4歳児と一緒に過ごす『なかよしデー』がありました。前日の夕方には「もうすぐ第一園舎でしょ」と期待たっぷりの様子で、「明日の朝は第一園舎、上履きを持っていく、レインコートを持ってくる」と持ち物などをお迎えに来たお家の方に伝えている子どももいました。当日はあいにくの雨模様でしたが、4歳児と触れ合いながら制作したもので遊んだり、好きな遊びを楽しんだりしており、進級への期待がまた膨らんだようです。

別の雨の日におひさまルームにてウレタン積み木で遊んでいる時に、みんなで動物園作りが始まりました。ゾウやキリンを作る子、遊び場としてシーソーを作る子、入り口はこっちだからと矢印を作る子と、それぞれが考え作って遊んでいましたが、ウレタン積み木の数が足りません…。どうするのかな?と様子を見てみると、いつの間にか「みんなで大きいおうちを作ろうよ!」と遊びが切り替わりました。長い積み木は屋根にして壁や窓も作って、やっとできたおうちは2人入ると満員でした。「あれ?もうちょっと大きくしよう」と何度も直しながら繰り返し作って遊んでいます。

やりたい意欲でいっぱいの子もたちが、どんな思いでどんなことをしようとしているのかを丁寧に受け止めたり援助したりしながら、自分でやろうとする気持ちを大切にしていきたいと思ひます。

- のびのびと遊ぶ中で自分の思いを表現し、友達と関わる楽しさを味わえるようにしていきます。
- 自分の思いを実現できたことや自分でできたことを共に喜び、進級への期待につなげていきます。



4歳児
ほし組

子どもたちは3歳児と一緒に過ごす『なかよしデー』や、自分たちで考えて作ったお店屋さんごっこに年長児や職員を招待できたことなど、様々な人と関りをもって遊ぶことを楽しんできました。なかよしデーは一日ぱんだ組さんと一緒に遊べる日と伝えると、ぱんだ組さんとやりたいことを出し合いながら計画を立てていきました。当日は「朝の会はね・・・」などと、照れながらもぱんだ組の子どもたちに教えている姿も見られ、どこか誇らしげな様子でした。会が終わるころには「今度は新しいほし組とうみ組になった時にたくさん遊ぼうね!」と自然と言葉が出ており、進級への期待も少しずつ見られています。

また、自分たちが進級すると年長児が小学校へ行くこと、一緒に遊べなくなることに気付き始めました。寂しさを感じている様子も見られますが、憧れの気持ちをもっている年長児のお別れ会の準備をしたり、プレゼントを作ったりしていく中で、年長児が喜んでくれることを想像しながら取り組む姿に、気持ちも少しずつお兄さんお姉さんになってきているのだと感じています。

クラスの友達に自分の思いを伝えながら活動することを楽しんだり、年長児と一緒に誕生会の司会や人数調べなどの当番活動を教えてもらったりしながら、進級することに喜びや期待をもって生活できるようにしていきたいと思ひます。

- 学級全体でおこなう活動の中で、意欲的に取り組めるようにしていきます。
- もうすぐ年長組になることに期待をもち生活していけるようにしていきます。





5歳児 うみ組

先日、お別れ遠足でギャラクシティに行ってきました。年明けから3ヵ月分のカレンダーに予定を書き込み掲示していたところ「あと〇日で遠足だね!」と楽しみにしている様子が見られました。遠足の日が近づくと「熱が出たら行けないから、風邪ひかないようにする!」「汗をかいたままだと風邪ひっちゃう」と外遊びの後は進んで着替えるなど、これまでに経験してきた健康に過ごすための方法を自身で気付いていこうとする意識が見られました。当日14名が揃って参加することができ、子どもたちからも「みんなで行けてよかったね!」の言葉が聞かれました。

当日はあいにくの雨でしたが、自分で傘を扱う良い機会になったように感じます。グループ行動の際には、グループの友達が全員揃ったことを自分たちで互いの顔を見て確認することもできるようになり、秋のバス遠足からのさらなる成長を感じました。子どもたちが楽しみにしていたスペースあすれちっくでは、大型ネットの上を歩くことを少し怖がっていた子どももいましたが、友達が楽しそうに歩き回ったり、トンネルを使って階を移動したりする姿を見て“自分もやってみよう”と一歩踏み出す勇気が出ました。挑戦できたことで「少し怖かったけど、できた!楽しかった!」と満面の笑みで話す姿を見て、また一つ大きな自信につながったように感じました。

お別れ遠足では、友達との楽しい時間を共有することができ、良い思い出作りができたのではないかと思います。

子どもたちはこの1年で様々な経験をし、友達との関わりも深まりました。また、互いに励まし喜び合う姿も多くみられるようになりました。もうすぐ修了を迎えますが、就学への期待をもちながら友達とのつながりを大事にし、楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

○修了する喜びや就学への期待をもてるようにしていきます。

○自分の成長を感じたり周囲への感謝の気持ちをもったりできるようにしていきます。



そよかぜ



年長児が学級でこま大会を行うため、そよかぜでも練習する姿がありました。その姿を見て4歳児もやってみようと挑戦し始め「そよかぜでもこま大会をやりたい」と声があがりました。4・5歳児が一緒のグループ対抗戦で、こま大会ではグループの友達を大きな声で応援する姿が見られ大盛況でした。

大会当日は回せず悔しい思いをした子どももいましたが、回せるようになりたいという気持ちが強く何度も練習をする中で「どうやってやるの?」「こうするといいよ」など自然に教え合う様子が見られました。また、手回しごまやひもごまなどお互いのコマもやってみたいという気持ちも起こり、4・5歳児が一緒に楽しんでいます。

一年間、異年齢と一緒に過ごしてきて、互いの距離も縮まり、遊び方を聞きながらまねをしたり一緒に遊んだり関わりが深まっています。また、言葉で思いを伝え合いながら、甘えたり少しお兄さん・お姉さんの気持ちで接したりと異年齢だからこそその姿も見られます。

今月も子どもたちのしたい遊びをたくさんできるようにし、また、楽しいおやつタイムも計画していきたいと思います。

○進級や就学への喜びや期待をもち、友達や保育者との関わりを深め、楽しく生活ができるようにしていきます。



<預かり保育料及び学納金の集金について>④⑤

☆ 毎月の集金額 (月刊絵本代を含む) 1,000円

☆ 集金日 5/8 (水) 5/9 (木) 【4,5月分 2,000円】

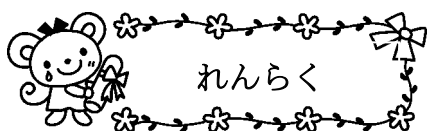
集金時間 8:50~9:10

16:00~18:30

☆ ④⑤の預かり保育料は毎月翌月の月末に引き落としになります。

3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1 ひなまつり マイ保育園	2
3	4	5 お別れ会④⑤	6	7 誕生会④⑤	8	9
10	11 避難訓練 安全指導	12 修了式総練式⑤ おたのしみおやつ④⑤	13 新入園児説明会	14	15	16
17	18 修了式④⑤	19	20 春分の日	21 新入園児と遊ぶ日④	22	23
24	25 終業式④ 進級を祝う日④	26 春季休業日 始 (短時間利用児)	27	28	29 進級を祝う日 ①～③	30
31						



【進級を祝う日】25日(月)④・29日(金)

①②③

学年ごとに進級を祝い進級する喜びを味わいます。
※進級クラス、新担任は、3月29日(金)16時から掲示にてお知らせします。

◎令和6年度第一学期始業式④⑤

4月8日(月)

服装：標準服(白の上着・紺の半ズボン)・白の靴下

◎令和6年度入園を祝う日・入園式

第二園舎 4月2日(火)

5歳児が参加します。

第一園舎 4月10日(水)10時(遊戯室)

服装：標準服(4、5歳児進級児参加)

4月の主な予定

2日(火)入園を祝う日①～③

5日(金)春季休業日終⑤(短時間利用)

8日(月)始業式④⑤(進級児)

服装：標準服

※短時間利用児は11時45分降園です。

10日(水)入園式④⑤

服装：標準服

※短時間利用児は11時45分降園です。

11日(木)安全指導

16日(火)保護者会⑤・避難訓練

18日(木)保護者会④

24日(水)保護者会③

25日(木)誕生会④⑤(誕生児保護者参加)



【ひなまつり】1日(金)①～⑤

各クラスでひなまつりに関する話を聞いたり、ひな人形を見たりしてお祝いをします。この日は、ひなあられと特別献立の給食をいただきます。

【お別れ会】5日(火)④⑤

4歳児が5歳児に感謝の気持ちを込めてお別れの会を計画します。この日は、お祝いの特別献立の給食をいただきます。

【新入園児説明会】13日(水)

来年度入園するお子さんの入園説明会を行います。

場所：第二園舎

時間：13時20分～

【修了式】18日(月)④⑤

ご家族や職員に祝福されながら5歳児に修了証書が授与されます。4歳児は見送りをしてお祝いをします。

詳細は、お知らせをご確認ください。

4歳児…標準服

☆短時間利用児は11時45分降園です。

【新入園児と遊ぶ日】21日(木)④

4月に第一園舎に入園する新入園児が、ほし組の子もたちと一緒に遊び、楽しいひとときを過ごします。

【3学期終業式】25日(月)④

一年間で大きくなったことを自分なりに感じながら、4月からの生活に期待をもって式に参加します。

服装：標準服

※短時間利用児は11時45分降園です。